



## 1 3年生菊池恵楓園での現地学習

12月1日(月)に、地域の方と一緒に、3年生全員で菊池恵楓園を訪問しました。

講演では、恵楓園で過ごされている方にお話していただきました。お話の中で印象に残ったことは、「『ハンセン病は恐ろしい病気だ。患者は隔離すべきだ。』ということが、当時の社会的な常識だった」という言葉です。今でもよく使われる「常識」という言葉ですが、「常識」「非常識」とは一体何か、現代の「常識」と思われていることは、本当に正しいことなのか、と考えさせられました。

午後からは、ボランティアガイドの方に、恵楓園の中を案内していただきました。お子さんたちは、真剣な表情で説明を聞きながら、園内の様子を見学しました。大変充実した訪問学習を行うことができ、この学びをもとに、今後さらに学習を進めていく予定です。

3年担任 山下 彩

午前の講演の終わりに生徒代表が謝辞を述べました。その全文をご紹介します。

今日は、私たちのために、説明やお話をしていただきありがとうございました。

私が一番印象に残ったのは、当時の医者は「2、3年したら治る。」と言っていたけれど、解剖承諾書を出させられてショックを受けたというところです。

私がもし、このようなことを言われ、そのような生活をしていたら、悲しいと思います。

■さんがおっしゃったように、帰りたいたったりすると思います。想像しただけで怖いです。

これからの生活で、心にバリアをつくらず、形だけじゃなく心のバリアフリーをつくり、一人でも傷つく人を減らしたいと思いました。

私たちは学校に戻って、ハンセン病について更に学習を進めていく予定です。今日学ばせていただいたことをもとに、更に理解を深め自分や周囲の人権を尊重していくための正しい知識や判断力を身につけ、過ごしていきたいと思っています。

今日は本当にありがとうございました。



想像を絶する差別に直面し、幼くして親とも引き離され、ふるさとも帰れなかった■さん。「例え何千、何万の人がいようとも関わらなければ路傍の石、私の心の泉に枯れ葉一枚も落としてくれない。」■さんの言葉です。

## 2 来週のおもな予定

日	曜	行事
8	月	3年生三者面談スタート
9	火	
10	水	サイバー犯罪対策課講演会
11	木	保育実習
12	金	
13	土	
14	日	

学校だより「南中からの風」は本校 HP でもご覧いただけます。→ <http://jh.higo.ed.jp/moguni/>